

堺ムーSTYLE

2025.12

Vol.23

発行／堺市 環境局 環境事業部 資源循環推進課

ムーSTYLE
バックナンバー
[こちらをクリック](#)

ごみの減量とリサイクル

ムーSTYLEでは、普段知ることのできない
他事業者様のごみ減量に対する取組を取り上げることで、
皆様の参考にしていただければと考えております。



会社紹介 株式会社 AddWall

堺市南区泉田中7-1

株式会社AddWallは、塗装業として歩みはじめ現在は、南区を中心にまちづくりや地域の魅力発信にも携わっています。ビジョンは「彩りと感動を」。デザイン思考やアートの力を取り入れ、人の心とまちに彩りを添える活動を続けています。

現場で生まれる余剰塗料を活用したワークショップ^{*1}や製品づくりを通して、アップサイクル^{*2}にも取り組んでいます。また、「塗料が自然に還せるもの」という発想から、土を原料とした塗材「Habitat（ハビタット）」の共同研究も進めています。人とまちに新しい彩りと感動を届けていきます。

*1 塗装体験をしてもらうイベント *2 廃棄物や不要なものに新たな付加価値を与え、元の製品よりも価値の高いものを生み出すこと。

R リフューズ Refuse

(発生源でごみを断つ)について

会社の取組

- 各自マイボトルを持参しています。
- 企画段階から、使い捨てを前提としない素材選びや、再活用を見据えた提案を行っています。
- 材料を残さないように現場各所の在庫量を把握しながら発注しています。

堺市環境マスコットキャラクター
「ムーヤン」

R リデュース Reduce

(減量)について

会社の取組

- のり、洗剤は詰替え用を購入しています。
- 使用したローラーや刷毛等をすぐに廃棄せず、品質に支障がない程度まで長く使用しています。



R リユース Reuse

(くり返し使う)について

会社の取組

- 余剰塗料はワークショップやサンプル作成に再使用しています。
- 塗装時に使う布製の敷物を活用し、洋服のタグなどに再使用しています。
- 使用後の紙コップをオブジェとして再使用しています。
- ペイントワークショップで使用する紙コップなどは、一度きりで廃棄せず、別のワークショップでも再使用しています。
- 廃棄予定のダンボールにペイントを施し、耐久性を高めることで展示資材やワークショップ素材として再使用しています。



R リサイクル Recycle

(再資源化する)について

会社の取組

- ・段ボール、ちらし、シュレッダー後の紙を資源業者へ納入しています。



株式会社AddWallが運営する元資料館です！



＼ 株式会社AddWallが運営する施設の取組をご紹介！ /

旧泉北すえむら資料館

堺市南区若松台2-5-1 大蓮公園内

「旧泉北すえむら資料館」は、日本のものづくり文化を象徴する「須恵器発祥の地」に佇む、創造と交流の複合施設です。建築家・楳文彦氏が設計した建物をリノベーションし、カフェ、ショップ、私設図書館、レンタルスペースを備えた地域のコミュニティ・ミュージアムです。

南海泉北線泉ヶ丘駅から徒歩750m。緑あふれる公園内に位置し、アートやものづくり、展示、撮影、ワークショップ、イベントなど、多彩な用途でご利用いただいています。

R リフューズ Refuse

(発生源でごみを断つ)について

会社の取組

- ・チラシ作成時は、必要な枚数を精査しています。
- ・トイレットペーパーは芯なしタイプを使用しています。
- ・購入された物販品は、過剰な包装を避けるため、そのままお渡ししています。

R リデュース Reduce

(減量)について

会社の取組

- ・手洗い用洗剤は詰替えタイプを使用しています。
- ・お手洗いではペーパータオルの使用をなくし、来館者にハンカチ等の持参を呼びかけるポスターを掲示しています。

R リユース Reuse

(くり返し使う)について

会社の取組

- ・裏紙を使用しています。
- ・シェアキッチンでは洗ってくり返し使える食器類を用意しています。
- ・展示やイベントで使用した装飾や備品を新たなイベント等で再利用しています（ペール缶、ダンボール什器など）。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ペットボトルキャップ、使い捨てコンタクトレンズケース、制服、使用済みの歯ブラシ、気泡緩衝材等を回収するボックスを設置したリサイクルコーナーを設け、来館者の再資源化や環境への意識が広がるきっかけづくりを行っています。



工夫や苦労しているところ

まだまだ浸透していない取組を行っており、サービスを求める方にとては不便や不自由になるため、理解が得られにくいです。一般社会とのバランスを取りながら徐々に賛同者を増やしていくよう努めています！



R リユース Refuse

(発生源でごみを断つ)について

会社の取組

- ・食材の廃棄を減らすために、仕込みの量を調整しています。
- ・おしぶりは、必要な方のみに取っていただくようにしています。



R リデュース Reduce

(減量)について

会社の取組

- ・皮まで食べられる無農薬野菜を使い、生ごみの減量に繋げています。



R リユース Reuse

(くり返し使う)について

会社の取組

- ・使い終えた茶葉を保存し、塗材にまぜて活用しています。
- ・テイクアウト商品をお買上げのお客様に、リユース紙袋の使用へのご協力をお願いしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「茶の音・堺」オープンの際に地域の方々からお家で眠っている和食器を提供いただきました。また店内の「畳スツール」は、地域の方々に参加いただいたワークショップで制作したもので、スツールの骨組み部分には、以前ウッドデッキ作成時に余っていた木材を活用し、畳部分もできるだけ端材を使用しています。

カフェでは、サトウキビの絞りかすを再利用したストローを使用しています。テイクアウト用の容器についても、バイオマス等からできたりサイクル容器を使用しています。

また、旧泉北すえむら資料館の畳では、カフェで出た生ごみを使用したコンポスト*の実施準備を進めています。

*生ごみや落ち葉などの有機物を微生物の働きを利用して分解し、堆肥を作ること。

